

北海道立オホーツク公園（網走市）

<施設全景>



<位置図>



<施設概要>

昭和63年に策定された「北海道緑のマスタープラン」により整備された最初の公園であり、道内4番目の都市公園です。基本コンセプトは「"オホーツク文化の香り高い森と湖"」として、平成2年度から整備を開始しました。

<<みどころなど>>

網走市の中心から車で15分のところに位置し、オホーツク海と知床連邦を望む、眺望の素晴らしいオートキャンプ場であり、近くには世界の北方文化を伝える北海道立北方民族博物館などが設置され、公園の特色を出しています。園内は「エントランスゾーン」「交流ゾーン」「北方文化ゾーン」「素材ゾーン」の4つのゾーンに分かれており、それぞれのテーマにあわせて、各施設が配置されています。28年度グランドオープンした屋外遊具広場には、日本最大級の高さ15mのツリー遊具や長さ50mのローラーライダー等が設置されています。

<諸元>

総面積：107.5㎡

エントランスゾーン：26.8㎡、交流ゾーン：26.0

㎡、素材ゾーン：32.6㎡、北方文化ゾーン：32.6㎡

<見学可能人数>

1回あたり40名まで

<見学箇所>

オートキャンプ場、屋内遊戯施設、屋外遊具広場、等

<アクセス>

旭川紋別自動車道 遠軽瀬戸瀬ICより、車で約3時間

<見学所要時間>

約1時間(応相談)

<その他施設>

駐車場：大型バス駐車可能

トイレ：各施設にあり

<周辺の観光情報>

- ・北海道立北方民族博物館
- ・オホーツク流水館
- ・博物館網走監獄

<注意事項>

- ・写真撮影等は、個人情報保護のため、他のご家族が写らないようにご配慮ください。
- ・飲酒されている場合は見学をお断りします。

